

## 【禁忌・禁止】

### \*\*＜使用方法＞

1. 検査前に日常点検を必ず行い、受話器に結合部の緩み、ネジの緩み、ひび割れや破損がある場合は使用しないこと。[被検者がケガをする恐れがある]
2. 検査時に検耳・周波数を切り替える際に、聴力レベル、ノイズレベルを大きなレベル設定（40dB 超）のまままで操作を行わないこと。[各レベルを大きくしたまま操作を行うと被検者に過大音が加わり、耳を傷める恐れがある]
3. 気導受話器が耳に当たるゴムの部分（耳当てゴム）や骨導補聴器の振動子の部分、応答用スイッチなどの被検者接触部を消毒せずに使用しないこと。また検査の後も消毒せずに放置しないこと。消毒には消毒用アルコールを含ませた脱脂綿を使用すること。[被検者間の感染を防止するため]
4. 装置を埃の多い環境、水の浸入が考えられる環境、及び爆発の恐れがある環境で使用しないこと。[使用者や被検者への危険防止と機器不具合の防止のため]



検査者は④スイッチ部を操作し検査音を出力する。被検者は検査音が聞こえたら⑨応答スイッチを押して検査者に知らせる。検査音の周波数及び信号レベルは⑤信号レベル表示器に表示される。

⑫AC/DCアダプタによって①本体に電源を供給する。

検査者は⑩マイク付ヘッドホンを使用して受話器を装着した被検者に音声連絡を可能とする。

被検者は⑪クリップ付マイクを使用してマイク付ヘッドホンを装着した検査者に音声を伝える。

⑬外部入力信号の入力端子で語音聴覚検査に用いる信号を入力する。

⑭外部出力信号の出力端子で音場での語音聴覚検査に用いる信号を出力する。

SDメモリ装置で各種語音データを保存する。

### 3. 電気的定格及び分類

(1) 電源: 100-240VAC $\pm$ 10% 50/60Hz $\pm$ 5% (AC/DCアダプタ)

6V $\pm$ 10% 1.67A 8W (本体)

※プリンタオプションの場合

100-240VAC $\pm$ 10% 50/60Hz $\pm$ 5% (AC/DCアダプタ)

6V $\pm$ 10% 6A 24W (本体)

(2) 電撃に対する保護の形式による分類: クラスⅡ機器

(3) 装着部の分類: BF形装着部。

(4) EMC規格 EN60601-1-2:2007

### 【形状・構造及び原理等】

#### 1. 形状・構造

寸法 320（幅）×90（高さ）×320（奥行）mm

重量 1.8kg

※プリンタオプションの場合

寸法 320（幅）×90（高さ）×390（奥行）mm

重量 2.3kg

体に直接接触する部品の組成

気導受話器の耳当て クロロブレンゴム（合成ゴム）

気導受話器の振動子ケース ABS樹脂

#### 2. 動作原理

①本体の③制御部より②信号発生器に対して周波数と出力レベルの指示が送られ、検査音が生成される。

生成された検査音は③制御部で指示された出力に応じて信号レベルが変化し、⑥出力部を介して選択された⑦気導受話器または⑧骨導受話器より出力される。

取扱説明書を必ずご参照ください。

## 【使用目的又は効果】

聴覚機能の検査に使用すること。

## 【使用方法等】

### 1. 使用前の準備

- (1) 機器の設定：本体を安定した場所に設置します
- (2) 機器の接続：「電源スイッチ」を OFF にし、付属品などを接続します。  
次に本体と商用電源を AC/DC アダプタで接続します。
- (3) 電源の投入：「電源スイッチ」を ON にします。
- (4) 被検者側の準備：被検者に検査方法を説明した後、受話器を被検者の頭部に装着し、応答スイッチを渡します。

### 2. 検査

- (1) 検査の選択：

「純音聴力検査」を選択します。

- (2) 被検者の耳に受話器をあてます。

- (3) 閾値検査：スイッチ部を操作して、「検査音」、「周波数」、「マスキング」、「検査音の呈示方法」、「受話器」、「検耳」等の選択を行った後、「音呈示スイッチ」を押して、受話器から音を出力させます。被検者の応答の有無によって検査音の音量レベルの上げ・下げ、周波数の上げ・下げを行い被検者の閾値を求めます。

### 3. 検査結果の出力

- (1) 表示：検査の結果は本体の「信号レベル表示器」に表示されます。
- (2) データ出力：機器背面の USB 端子とコンピュータが接続されている場合、検査結果がコンピュータへ出力されます。オプションのプリンタが内蔵されている場合は検査結果をプリントアウトできます。

### 4. 検査後の作業

- (1) 電源を切る：「電源スイッチ」を OFF にします。

## 【使用上の注意】

### ＜重要な基本的注意＞

1. オーディオメータは、受話器ごとに精密に校正されています。受話器は、本体に付属されたものを必ず使用してください。オーディオメータ本体に表示されている各受話器の製造番号と使用する受話器の製造番号が一致しない場合は、オーディオメータの性能は保証されません。
2. 可燃性ガスの発生する環境に設置しないでください。
3. \*\*機器の使用前の点検
  - (1) すべてのコードの接続が正確でかつ安全であることを確認してください。
  - (2) スイッチの設定状況、表示器などの点検を行い、機器が正確に作動することを確認してください。

### 4. 機器の使用環境

使用環境条件の範囲内で使用してください。

### 5. 静電気による誤動作

大きな静電気により、機器が誤動作をする場合があります。履物・イスなどの違いにより、大きな静電気が起きる場合があるので注意をしてください。動作に異常が見られた場合は、それまでのデータを記録した上で、電源を入れ直してください。

### 6. 他社製品付属品流用の禁止

(1) 他社製品の付属品を流用した場合には機器が故障する場合がありますので、使用しないで下さい。

(2) 機器の USB 端子に USB メモリなどの指定外の製品をさしこまないでください。故障の原因になります。

## 【保管方法及び有効期間等】

### 1. 貯蔵・保管方法

- (1) 直射日光が当たる場所は避けてください。

- (2) 運搬時を含む保管輸送時の環境条件の範囲内で貯蔵・保管をしてください。

### 2. 耐用期間

\*\*5 年[自己認証（当社データ）による]

## 【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検項目＞

1. 日常点検の外観的点検、聴取点検は検査前に毎日必ず行ってください。
2. 主観的校正点検は少なくとも週 1 回行ってください。
3. 客観的校正点検は 1 年に 1 回以上行ってください。
4. ほこりなどの汚れを落とす時は、必ず電源スイッチを切り、プラグを電源コンセントから抜いてから清掃してください。
5. 本体を清掃する時は、まず薄めた中性洗剤を脱脂綿に含ませてよく絞り、軽く拭きます。次に、きれいな水を含ませた脱脂綿をよく絞り、中性洗剤を拭き取ってください。
6. シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。ケースが溶けたり、文字がはがれたりします。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：スターキージャパン株式会社

\*電話：045-475-9701

製造業者：Inventis s.r.l.（イタリア）

**取扱説明書を必ずご参照ください。**